

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 広島県三次市立安田小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒729-4203
広島県三次市吉舎町安田1741番地1

E-mail yashuda-e@city.miyoshi.hiroshima.jp

Website www.miyoshi-yasuda-e.hiroshima-c.ed.jp

児童生徒数 男子 8名 女子 2名 合計 10名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

地域の自然（生命）・人（思い）を未来へつなぐ ～安田ESDカリキュラムの充実～

【取組内容】

今年度も、理科・生活科中心に他教科とも関連性やつながりの視点で整理した「安田ESDカリキュラム」（資料は第6学年）をもとに取組を進めた。そのカリキュラムをもとに、絶滅危惧種である「ダルマガエルの生態調査」、地域の自然や素材を生かし水生生物の研究・身の回りの昆虫の調査などの「環境学習」を行いその結果を「科学研究」としてまとめ、三次市科学賞、広島県科学賞へ応募した。地域や保護者に対しては、「夏のくらし発表会」「学習発表会」を発信の場としてその経過や結果などを環境保全の大切さと関連させながら報告した。



【活動の様子】

①「クリーン活動」



年間3回（6月・10月・2月）黒靴（くろさや）峠と備後安田駅の清掃活動を計画し、実施した。2月には、活動の振り返りを行い、活動を通して自己が変容してきたことを見つめ直すこと、地域への感謝の気持ちをもつこと、次への課題などを話し合い、具体的行動への広がりをねらっている。

②安田子ども自然ガイドの取組



年間3回（4月・6月・3月）地域や保護者を招いて安田地域の動植物の様子を説明する「安田子ども自然ガイド」は年を重ねて、今年で8年目になる。

調べるだけでなく、活動の振り返りを大切に、自己評価や相互評価や次への課題等を明らかにしていく取組を充実させている。

③川学習の取組



きれいな水の生物	少しきたない水の生物	きたない水の生物	大変きたない水の生物
（観察記録）	（観察記録）	（観察記録）	（観察記録）
（観察記録）	（観察記録）	（観察記録）	（観察記録）
（観察記録）	（観察記録）	（観察記録）	（観察記録）

学校の横を流れる「上谷川」の生き物を調査し（梅雨前と梅雨后）水生生物の種類や数を調べる活動で、川の状態を知り、記録をしていく取組を毎年行っている。

この調査結果を基に科学研究への取組を行った。

④科学研究への取組



科学的な知識を活用し、多面的に考えたり、説明したりする力をつけるとともに、自然環境や生命を尊重し地域を愛する心情をもち、実行していく力を培うことをねらいとして、地域の方のお話を聞く等し、本年度も全学年で取り組んだ。

⑤発信の場の設定「夏のくらし発表会」

夏のくらし発表会では、これまで取り組んできた「科学研究」の内容や途中経過などを地域保護者に対して、知らせ興味を持ってもらった。



「学習発表会」





学習発表会では、科学研究の取組や結果について発表した。また今年度は、今までの地域に伝わる民話劇に代え、今年、環境学習の取組や調べてわかったことを劇化して、地域の方々に伝える取組を行った。

⑥その他の取組

「ダルマガエル調査」



「ESD授業風景」



「ネイチャーカレンダーの取組」



【取組結果と評価】

○三次市科学賞では、全学年・学級で調査しまとめた5作品のうち4作品が賞に入り、広島県科学賞においても入選した。

○アンケート等による評価結果（保護者・地域アンケートから）

「学校の教育活動について、様々な学校からの情報発信でよくわかる」や「学校は、地域や保護者の願いを受け止め、それに応える教育活動を行っている」の項目においていずれも肯定的評価100%

【記述】

- ・よく調べ、わかりやすく発表していると思いました。
- ・児童数は少ないけれど、一人一人がもっている力を発揮してよく頑張っている。
- ・少人数の中で、様々な創意工夫して教育がなされている様子がよくわかる。
- ・児童も活発に授業に参加し、複式の中で主体的に学習に取り組んでいる姿があり、行事でも多くの役割を担って頑張っている様子がよくみられる。
- ・発表で児童それぞれが工夫していました。自分たちの生活の中から発想や将来の夢などが語られたところが良かった。等々

○これらの活動において、

- ①多面的に考えたり、総合的に考えたりする力
《多面》
- ②地域を愛する心情をもち、実行していく力《関連・参加》
- ③聞き手を意識しながら伝える力 《伝達》
- ④他者と協力しながら進めていく態度 《協力》

等が身についてきた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（)